

昭和57年1月16日発行

第九三号

編集 馬路村教育委員会
発行 安芸印刷

広報 うまひ

12月末の人口	
世帯数	六六五
男	九〇九人
女	八五八人
計	一七六七人



天然記念物カモシカのつがい
魚梁瀬 尾続山69林班で魚梁瀬営林署 大谷清氏写S54.1

新年のごあいさつ



馬路村長

小松千歳

村民の皆様、あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新しい年をお迎えになられたことと存じます。

旧年中はいろいろと行財政の運営にご協力をいただき、不況の続く中ではありましたが、おかげさまで比較的順調に年を越すことができました。

皆様方のご家庭ではいかがでしたでしょうか。世界的な経済不況はいやおうなしに私達の家庭生活にも影響を与えてまいりました。早くこんな年は終って新しい年を迎えたいと多くのご家庭が待ち望んでおられたことと思います。そして今、昭和五十七年（一九八二年）の第一日を迎えました。新しい決意のもとにこの一年が幸多い一年でありますよう共にお願する次第でございます。

さて、長引く不況の中で決して平穏な年ではないと予想されますが、特に国の行政改革は村の行財政運営に大きく影響し、皆様が期待する施策が実施できるかどうか危ぶまれますが、このような時代にこそ、皆様の信頼に応えて一九八〇年代の基礎を築いてゆくべきであると決意致しております。

皆様方のいっそうのご指導とご協力をお願いして年頭のごあいさつと致します。

月間

SPOT

≡ 11 月 ≡

- 1 日 馬路地区村民運動会(於村民運動場)
高知県戦没者追悼式(於高知市)
- 2 日 馬路婦人会手芸教室(於就改センター)
- 3 日 文化の日
- 4 日～5 日 乳児検診・3才児検診(於馬路・魚梁瀬)
- 5 日 村内小学陸上交歓会(於魚小)
農振整備促進協議会(於就改センター)
- 6 日 魚梁瀬婦人会七宝焼教室(於魚中)
- 8 日 土佐寒蘭展(於就改センター)
- 11日 中芸地区教育講演会・講師俵萌子(於安田町)
- 12日 民生委員会(就改センター)
- 13日 青少年文芸講演会・講師岡林清水
・市原麟一郎(於就改センター)
- 14日 胃精密検診(於就改センター)
- 15日 馬路村文化祭(於魚梁瀬体育館)
- 17日 謡曲発表会(於魚公)
- 19日 秋季村長杯バレーボール大会(於魚梁瀬体育館)
- 20日 魚梁瀬婦人会総会(於魚公)
馬路神祭
- 21日 馬路地区はし拳大会(於就改センター)
- 23日 勤労感謝の日
- 26日 議会総務常任委員会(於就改センター)
- 27日 白ろう病検診(於高知市)
- 30日 馬路保育所保母採用試験(於就改センター)
馬路地区新入学児健康診断(於馬小)
農業委員会(於就改センター)

≡ 12 月 ≡

- 1 日 魚梁瀬地区新入学児健康診断(於魚小)
動く福祉相断所(於就改センター)
- 7 日 金教英医師送別会(於コミセン)
- 10日 地域農政推進協議会(於就改センター)
- 12日 魚梁瀬婦人会・老人クラブ公園清掃
- 13日 安芸タートルマラソン大会(村内から20名参加)
障害者問題を考える高知県民集会(於高知市)
- 14日 1年生の母親教室(於馬小)
- 17日 中芸行政組合定例議会(於田野町)
- 18日 郡中学駅伝
- 21日～25日 12月定例村議会
- 25日 民生委員会愛のもちつき
- 28日 官庁御用納め
- 29日 馬路診療所荒木医師赴任

≡ 1 月 ≡

- 1 日 体育始め(於馬路・魚梁瀬)
成人式(於就改センター)

青少年文芸講演会



十一月十三日青少年文芸講演会
岡林清水先生



十一月二十日馬路地区
はし拳大会



↑12月25日民生委員会愛のもちつき



十一月一日成人式



↑1月1日馬路郵便局元旦1号便出発式
局長と村長によるテープカット

みちしるべ

「部落の人は朝鮮や中国からの渡来人の子孫（豊臣秀吉の朝鮮征伐の時の捕虜の子孫など）だから差別されるのではないかと」と考えている人が、今でもかなりいるようです。しかし、これはたいへんまちがった考え方です。

日本列島に人間が住みついたのは、少なくとも一万年以上前のことだといわれています。この間、シベリア方面からの北方系民族や中国、朝鮮などの大陸系、さらに南方の海洋民族などが長い年月の間に日本列島にやってきて、これ

らの民族が互いに混り合い、現在の日本民族ができたことは、学問上の定説となっています。

わが国は古代から外国（とくに朝鮮、中国）と交通し、産業、経済、政治その他あらゆる文化を取り入れて今日の繁栄を築いてきました。これらの文化を伝えた渡来人は重要な役職や土地を与えられ大切に扱われました。日本の皇室や支配者の人びとのなかにもこれらの人びとの血筋はたくさん入ってきております。たとえば桓武天皇の生母である高野の新笠は百済の帰化人の出であり、また平安時代の初めに出された「新選姓氏録」によると、平安時代の貴族の三分の一以上が、朝鮮や中国からの帰化人であることがわかります。

成人病の予防

血圧を正常に保つ

脳卒中、心臓病の原因で、動脈硬化と並ぶもう一つの「元凶」は高血圧症です。

ところで体力づくりに励んでいる人は、一般の人に比べて血圧の正常者が比較的多いといわれています。その理由としてあげられるのは、運動による血管

の拡張で血液の流れがスムーズになるということです。

逆に、運動不足で栄養もよくその上、動物性脂肪もとり過ぎが目立つ管理職タイプの肥満者は、心配ごとなどの精神的なストレスが加わると、血圧が上がります。

ふだんから適度な運動によって体調を整え、ストレスを解消し気分転換を図ることは、一般に血圧管理の上からもよいことです。

このことからわかるように、わたしたち日本人の血筋には、朝鮮の人と同じ血筋が流れており部落の人たちだけが朝鮮人の子孫であるなどということは、まったくの誤りであって、科学的な根拠のないことです。部落の人を朝鮮人の子孫だとする考え方は、朝鮮の人たちをべつ視する考え方が現在でもわたしたち日本人の心の奥底に残っており、この差別意識と結びつけた差別意識のあらわれでもあると思われまふ。

新憲法のもとでは、すべての人間は法のもとに平等であり、人種がちがいにによって差別されることはいははずです。まぎれもない日本人である部落の人を、人種がちがうなどといって差別することは絶対に許されません。

同和教育資料

「みちしるべ」より

一般市民へのびる

魔の手

麻薬・覚せい剤禍

撲滅運動

覚せい剤に手を出すとどうなるのか。わたしたちのごく身近で覚せい剤による犯罪が発生しているのに、この薬物の恐ろしさにについては意外と知られていません。「自分たちとは別の世界ででき

と」受けとめているせいでしょうか。

ここに覚せい剤体験者の悲痛な告白があります。

「長距離トラックの運転手をしていましたが、深夜、長時間運転するので、疲れから眠けに襲われることがよくありました。仲間から疲労と眠けがましに効くといわれ、覚せい剤を注射されました。たしかに、少々無理をしても疲れないうえ、目が冴えるような気がします。一度だけのつもりが、やがて自分から覚せい剤を求めようになりました。

月に三十万は稼いでいましたがその全部を覚せい剤を買ったために使い果たしてしまふようになりました。なんとなく腹が立ち、家族に暴力をふるったり、夜中にノコギリで庭の木を切り倒したりしました。理由もなしに、そんな行動に出してしまうのです。家族は今、どこへ行ったか分からない。後悔しています。」

「一度だけ」のつもりが常用者になり。――はじめは好奇心からというものがほとんどですが「一度手を出すともうやめられない」というのがパターンです。

殺人、放火、強盗、傷害など覚せい剤による犯罪は増える一方です。そして問題なのは、それらが「理由なき犯行」であることです。「追われている」「殺される」

「だれかが家に侵入してくる」などの妄想や幻覚が、こうした犯罪身を滅ぼすだけでなく、常用者の周囲の人は、いつも大きな危険を背負っていることになりました。

昭和五十五年に覚せい剤取締法違反で検挙された者は、二万二百人に達し、前年より八・九％の増加となっています。とくに一般市民にまで広くまん延し、主婦や青少年への浸透が目立っています。現在、わが国で不正に流通している覚せい剤は、メタンフェタミンで、誘いの言葉の一つである「疲れがとれる」というのは全くの錯覚です。逆に疲労が体内に蓄積されるということをよく知っておかなければなりません。覚せい剤にプラスの面は何もないのです。

「白い粉の恐怖」について、一人ひとりがよく知るとともに、わたしたちの周囲から覚せい剤を追放しましょう。



長滝谷川探険記

「どだい、ばーる(危険な場所の意味)じゃが、あそこには十三の滝が連らなっている」と昔から口伝えられている長滝谷川。

かねてより相名の北岡一雄さんから同行の申し出があり、教育委員職員三人へ高知新聞中芸支局の嶋川記者を加え、十二月八日午前八時、長滝谷川実地調査に出発。安田川林道を車でさかのぼって

谷口で下車する。さすがに車中と違つて冬山から吹きおろす風は頬に冷く顔を見合わせ震つ。リュックサックの中身を点検する。記録係は手帳、カメラ、ハミリカメラ、フィルム類を確認し、ロープ、巻尺は背に負う。

奈半利川へ分水しているせいで谷口は水量も乏しい。二百mほど上流にその取水口があり、下流とは対象的に水音をたてている。切り立った川の岸辺をよじ登り、白く泡だてる急流の岩を踏み跳ぶと、目の前に朽ちかけた巨木が倒れ岩と岩との間へその幹を突き刺している。そういえば途中にも巨木の切り株や倒木が何か所も清流を塞ぎ、流れを変えていた。その下をくぐり通る。

一時間ほど歩いただろうか。落

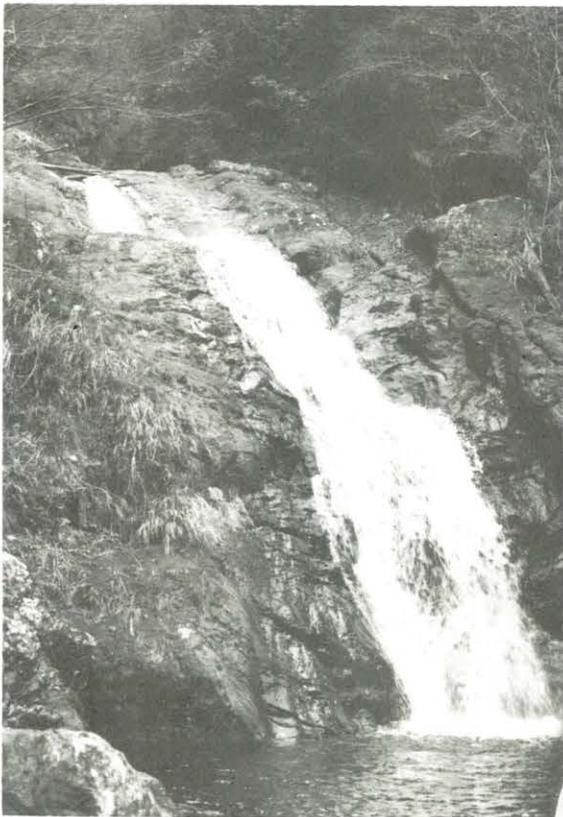
下する水音がひととき高くなり、巨大な岩石の間を這つて抜けると視界がひらけた。途中、二度ほどたき火をたいて衣服、靴を乾かせねばならないアクシデントもあったものの第一の滝へたどりついたのだ。比較的傾斜がなだらかで、水が白い帯のごとく滝つぼに流れ込んでいような滝だ。その中間部には人が立つこともできる。高さは十五m、滝つぼの深い青、飛びちる水の白、そして轟音がようやく陽の射し始めた谷間に調和している。嶋川記者が盛んにシャッターボタンを押す。ハミリカメラを回す。

ここで弁当をひろげることにした。最年長の北岡さんは元気で、箸を置くなり山道の雑木をはらつて若い我々を助けてくれる。その滝の右手、岩のせり出している陰に祠がある。かつて、この谷間に手斧音がこだまし、木遣り歌が聞えていたころ、山男らが仕事の安全を祈願してまつた「長滝様」であろう。祠の前で手を合わせ上流へ目を向けると幾つかの滝が連なっているのが見え、一気に標高差を増していく。三、四と滝を通る。両側から急峻な崖がせり出して滝をつくっている。出発以来ずっと先導役を努める北岡さんが、比較的足場の良い所からロープを投げ落してくれる。それを頼りによじ登る。足元を急流が走る。さ

らに五、六の滝を確認して行く。出発してから三時間ほど歩いただろうか。一段と高い滝に出くわした。脇道を回つてその上流へ降り滝頭まで戻る。及び腰ながら、重りをつけた巻尺を投げおろしてみろ。とどかない。巻尺を全部解き直してふたたび投げろ。水の流に巻尺が踊り、持つ手が引き込まれそうだ。どうやら滝つぼまで届いたらしく、下にいる者が手をあげる。意外に高い。手元は三十mの所を持つている。

そこから上流にもいくつかの滝を確認した。流れは次第にゆるやかにになり巨木が倒れ交差し土石を塞く所から上は一変して谷口と同じような穏やかな河原の様相である。

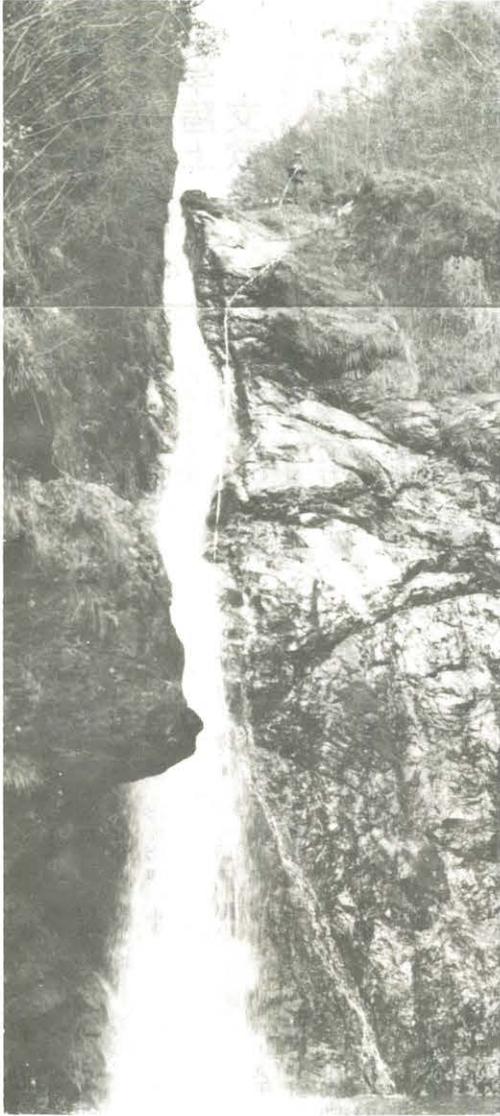
腕時計を見ると午後二時。ここから先へ進める時間ではない。土の濁りのない滝つぼの底で、枯葉が水に揉まれて、そんな景色を後に帰りの身仕度を始めた。



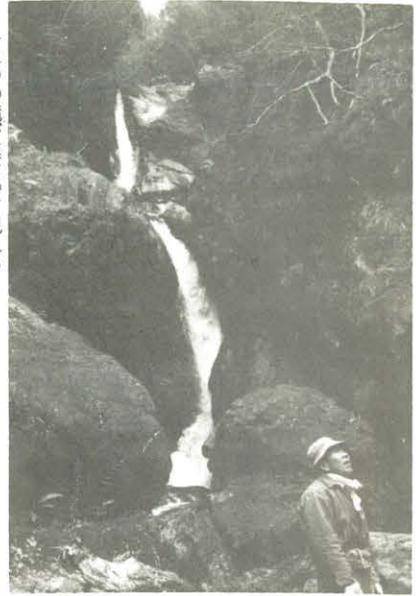
←13の滝のうち1番下流にある滝

↓左の写真の滝口を渡った所にある祠





↑ 高さ30mの滝



↑ 二つの滝が連なって見える



↑ 左の写真の上流

↓ 枯葉の沈む深い滝つぼ



↓ 滝が終り記念撮影



教育の窓

村内小学陸上

交歓会

昭和五十六年度村内小学校陸上
交歓会は十一月五日に魚梁瀬で行
なわれました。

おもな結果は次のとおり

五十メートル走

四年男子

一位 酒井賀彦 8秒7 魚小

二位 丸山貴匠 8秒9 馬小

三位 西岡智和 9秒0 馬小

四年女子

一位 沖屋 瑞木 9秒2 馬小

二位 中岡 千晶 9秒2 馬小

三位 五百蔵志保 9秒6 魚小

伊吹 佳恵 9秒6 馬小

山中 都江 9秒6 馬小

五年男子

一位 芝 久義 8秒4 馬小

二位 笹岡昌二 8秒4 馬小

三位 西山敦史 8秒5 馬小

五年女子

一位 手島文香 8秒4 魚小

二位 西野千晶 9秒1 馬小

山崎久美 9秒1 魚小

萩野美保 9秒1 魚小

六年男子

一位 林 寛幸 8秒1 馬小

二位 村瀬久幸 8秒3 魚小

三位 清岡 巧 8秒5 馬小

六年女子

一位 畠中あゆみ 8秒6 馬小

二位 乾 美佐恵 8秒8 馬小

上総 りさ 8秒8 魚小

百メートル走

四年男子

一位 丸山貴匠 16秒5 馬小

二位 酒井賀彦 16秒8 魚小

三位 山崎栄喜 17秒6 魚小

四年女子

一位 伊場靖香 17秒8 馬小

二位 中岡千晶 18秒3 馬小

三位 伊藤優香 18秒9 馬小

五年男子

一位 五百蔵浩二 16秒5 魚小

二位 近藤 年猪 17秒1 魚小

三位 露口 貴弘 18秒8 魚小

五年女子

一位 手島文香 16秒9 魚小

二位 五味志乃 17秒5 馬小

三位 田中睦美 23秒6 馬小

六年男子

一位 林 寛幸 15秒8 馬小

二位 伊吹幸憲 16秒0 馬小

三位 田中靖久 16秒4 馬小

六年女子

一位 平野 由佳 16秒1 馬小

二位 中岡 則子 16秒2 馬小

三位 山中知佐乃 16秒9 馬小

ソフトボール投げ

四年男子

一位 藤原俊二 33 m 41 cm 魚小

二位 西岡智和 32 m 98 cm 馬小

三位 木下伸一 31 m 5 cm 馬小

四年女子

一位 伊場靖香 23 m 5 cm 馬小

二位 伊吹佳恵 20 m 馬小

三位 清岡まり 18 m 88 cm 馬小

笹岡 愛 18 m 88 cm 馬小

五年男子

一位 芝 久義 44 m 25 cm 馬小

二位 芝 吉宏 40 m 25 cm 馬小

三位 西山敦史 39 m 50 cm 馬小

五年女子

一位 萩野美保 25 m 75 cm 魚小

二位 山崎久美 24 m 50 cm 魚小

三位 手島文香 23 m 90 cm 魚小

六年男子

一位 伊吹幸憲 46 m 88 cm 馬小

二位 田中靖久 39 m 42 cm 馬小

三位 乾 正一 38 m 12 cm 馬小

六年女子

一位 乾美佐恵 29 m 80 cm 馬小

二位 上総りさ 25 m 24 cm 魚小

三位 畠中あゆみ 25 m 20 cm 馬小

走り巾とび

四年男子

一位 丸山貴匠 3 m 37 cm 馬小

二位 山崎栄喜 3 m 25 cm 魚小

三位 酒井賀彦 3 m 13 cm 魚小

四年女子

一位 田中佳代子 2 m 75 cm 馬小

二位 沖屋瑞木 2 m 67 cm 馬小

三位 堀内美紀 2 m 58 cm 魚小

五年男子

一位 笹岡昌二 3 m 56 cm 馬小

二位 西山敦史 3 m 43 cm 馬小

三位 平野文康 3 m 37 cm 馬小

一位 五味志乃 3 m 23 cm 馬小

二位 西野千晶 3 m 2 cm 馬小

三位 高橋寿枝 2 m 75 cm 魚小

六年男子

一位 村瀬久幸 3 m 87 cm 魚小

二位 林 寛幸 3 m 85 cm 馬小

三位 伊吹幸憲 3 m 50 cm 馬小

六年女子

一位 平野由佳 3 m 25 cm 馬小

中岡則子 3 m 25 cm 馬小

三位 畠中あゆみ 3 m 15 cm 馬小

走り高とび

四年男子

一位 田村将二 1 m 魚小

二位 藤原俊二 95 cm 魚小

三位 清岡智樹 85 cm 馬小

四年女子

一位 伊場靖香 95 cm 馬小

二位 中岡千晶 95 cm 馬小

三位 伊吹佳恵 90 cm 馬小

五年男子

一位 芝 久義 1 m 17 cm 大会

新 馬路小

二位 五百蔵浩二 1 m 5 cm 魚小

三位 露口貴弘 1 m 魚小

五年女子

一位 五味志乃 1 m 5 cm 馬小

二位 山崎久美 1 m 魚小

西野千晶 1 m 馬小

六年男子

一位 村瀬久幸 1 m 15 cm 魚小

二位 田中靖久 1 m 10 cm 馬小

三位 伊吹卓哉 1 m 5 cm 魚小

六年女子

一位 平野由佳 1 m 15 cm 馬小

二位 中岡則子 1 m 10 cm 馬小

三位 上総りさ 1 m 5 cm 魚小

千メートル走

四年男子

一位 酒井賀彦 4分0秒 魚小

二位 丸山貴匠 4分2秒 馬小

三位 五百蔵誠一 4分12秒 魚小

四年女子

一位 伊吹佳恵 4分29秒 馬小

二位 田中佳代子 4分30秒 馬小

三位 中岡千晶 4分34秒 馬小

五年男子

一位 近藤年猪 4分8秒 魚小

二位 芝 久義 4分9秒 馬小

三位 露口貴弘 4分14秒 魚小

五年女子

一位 五味志乃 4分12秒 馬小

二位 萩野美保 4分14秒 魚小

三位 手島文香 4分23秒 魚小

六年男子

一位 村瀬久幸 3分50秒 魚小

二位 伊吹幸憲 4分1秒 馬小

三位 北岡栄進 4分4秒 馬小

六年女子

一位 中岡則子 4分23秒 馬小

二位 乾美佐恵 4分31秒 馬小

三位 山崎良恵 4分34秒 魚小



1月26日文化財防火デー

教育相談所だより(5)

家出について

昭和五十五年に出家人として警察に捜索願が出された件数は、一万一千三百十八件で、前年に比べ、一・三%増加しています。そのうち未成年者が、全体の四五・五%を占めているわけです。しかしこれは、捜索願出のあった者の統計で、実数はこれより多いと考えなければなりません。青少年について考えても、安芸郡市内で、毎年多くの市町村で発生していることを聞いています。

さて、最初に家出の原因について考えてみたいと思います。(少年の場合)

- 一、家庭、学校等身のまわりでおこったトラブルから逃れようとする逃避型家出が一番多い。
 - (1)、家族の和がなくて、家族間のトラブルが多く、家に居られなくなる。
 - (2)、親子の関係。親の要求が大きすぎたり、又放任、無関心などの場合。
 - (3)、学校での教師、友人との人間関係。
 - (4)、学業成績が下ったり、クラブ(部)活動などのトラブル。
 - (5)、職場での問題。
 - (6)、異性(恋愛)関係。など
- 二、遊びぐせ、放浪癖など本人の

性格からくる家出。

- (1)、遊びぐせがついて。
- (2)、友達に誘われて。

「事例」

女子中学生五人は、家出してデイスコ等で遊ぶうちに、暴力団員と知り合い、さそわれるままに、ホテルやモーテルで淫行された上、暴力団員、会社社長等を相手に売春を強要されていた。三、見物(遊び)目的や異性と同せいたい、就職をしたい等ならんかの目的をもった欲求指向型家出。

四、病的の家出。
五、テレビ、映画、図書などからヒントを得て、同じような体験をする。所謂、空想を現実にする家出。

六、(一)、(二)と重複するかも知れませんが、思春期の発達過程において自立、独立心から、一人前の気分になりたくて、又なつて家出する場合。

- (1)、冒険を求めて。
- (2)、刺激を求めて。
- (3)、今の生活が単調なから。
- (4)、都会へ行ってアルバイトをし、小遣いを働きたいから。

七、その他 が考えられます。次回には、一般少年と家出少年との意識のちがいを考えてみたい

馬路小 県教育委員会表彰を受ける

昨年十一月十七日に馬路小学校が、多年国語教育に取り組み成果をあげたとして、高知県教育委員会より学校表彰を受けました。県下で僅か二校(高知市高須小(理科教育)であり、まことに名譽なことであります。これは本村が教育を大事にする伝統をもち、地域、父母、行政が一体となって教育の振興に努力されていることを背景に、馬路小が村内三校の協力を得て、全国へき地教育研究大会に成果

をあげた事が評価されたもので、受賞を契機に馬路村の教育が更に発展し、子どもたちが豊かに成長することを期待するものです。



と思います。

郵便局だより



なつているものがあります。この機会に、受け取った年賀状で住所録の整理をしましょう。

なお、住所録に記入する場合には、新しい郵便番号や住所のほか、アパート名・棟番号・室番号や〇〇様方(子どもさんや同居人等の場合)などまで、詳しく正確に記入しておくことが便利です。

年賀状で住所録の整理を

お正月にたくさん年賀状を受け取られたことと思いますが、差出人の住所が、転勤、転居や住居表示制度の実施等によって変更

お年玉つき年賀はがきの抽選は、一月十五日に行なわれます。当選番号は、全国の郵便局に掲示されますが、お年玉賞品の引換期間は、一月二十日から七月十九日となっていますので、最寄りの郵便局でお早めにお受け取りください。

なお、三等と四等のお年玉賞品は、年賀はがきのくじ番号印刷部分を切り取らないで、受領証によつてお渡しすることもできますので、ご希望の方は、窓口にご希望の旨申し出てください。

書き損じた はがきなどの交換
お手持ちの官製はがきで料額印面(切手に相当する部分)が汚れたり、破れるなどしていないものは、その部分に表わされた金額により、官製はがきや切手などと交換することができます。切手や郵便書簡も同じように交換することができます。なお、交換には手数料が必要ですので、詳しくは郵便局でお尋ねください。

「こめい福をお祈りします」

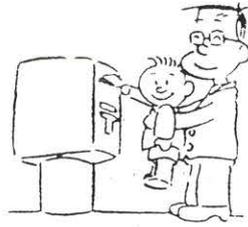
乾 氏名 性別 行年 亡月日 世帯主 続柄 部落
貞代 女 88 12・5 龜 母 影

お年玉賞品の受け取りはお早めに

ふるさとへのたより

広報うまじでは、『ふるさとへのたより』というコーナーを設けており、仕事などの関係で故郷馬路村を遠く離れて、生活をしている方々から、家庭の状況など近況をお知らせいただき、掲載させていただきます。

本号では、兵庫県明石市在住の枝吉稔（旧姓西野）さんのお便りを掲載させていただきます。



ふるさとの みなさまへ

いつも広報うまじを送っていただきましてありがとうございます。毎回楽しみに待っています、うれしく拝見いたしております。

このたび、お便りさせていただくにつまましては、少々困惑しながら書いています。なにしろ実家にもまったく手紙を書かない筆不精なもので、神戸の鉄工関係の会社に勤めている主人と結婚し、明

石に住んで足かけ十四年になります。最初は知り合いもなく寂しい毎日でしたが、長男（小六）長女（小四）に恵まれ、子供達の成長と共に友人も多くなって、とまどいがちだった生活にも慣れて来ました。近所で南国市と土佐清水市の方がいて、親しくさせていただき、

気をはることもなく方言で話をすることもできるこの頃です。私は、長男が幼稚園の時からパートで働くようになり、それ以来子供は「カギ子」です。低学年の頃はかわいそうでもあり、心配でもありましたが、この頃ですすっかり慣れて休み中でも交代で留守番をしてくれるように

なりました。私達は住んでいる朝霧校区は、坂道の多い所で、畑や山林が開発されて、マンションや住宅が次々に建っています。

日常の買物は歩いて三十分以内のところに、マーケットや商店街が六ヶ所もあって便利です。

繁華街もバスで十五分の明石駅周辺のため環境も良い方だと思っています。

東川・中ノ川部落初優勝（馬路地区村民運動会）

昭和五十六年度馬路地区村民運動会は、十一月一日に村民運動場で行なわれ、本年初登場のいのしし親子リレーなど二十四種目に熱戦が展開された結果、東川・中ノ川部落が初優勝しました。

なお、総合得点及び順位は、優勝、東川・中ノ川部落六十三・五五点、二位、影部落五十七・五五点、三位、相名部落五十六・五



→木こりリレーより

点、四位、日浦・朝日出部落五十一・五五点という結果でした。
兵庫県明石市 枝吉稔

伝説散歩

しおり地蔵（しおり谷口）

シバオリサマのことである。むかしは、集落と集落のつなが道に、かならずこの柴折り様があった。

小さな祠があったり、また露坐のお地藏さまであったりした。この道をとる人は、かならずシバを折って、道中の安全を祈って、神や仏さまにささげていった。だからシバオリサマである。シオはシバオリのつまったものと考えられる。

ずっと前の高知新聞夕刊「話題」欄に、小笠原さんという記



（中ノ川しおり地蔵）

者が「柴折りさま」で面白い発見をしていた。山道にはシバが茂る。放っておくと道幅を狭くする。雨の日はずいぶん衣服をぬらす。わざわざシバを刈るのもおっくうだ。人の手を借り、行き帰りにシバを折らせば、と思いついたものの、タダでは折ってくれない。そこで神さまの力を借りれば……。

「芸西伝説散歩」市原謙一郎著より

ゆず栽培 1月の農作業



越冬害虫の防除

ゆずは、温度の低い時期でないと薬剤が葉面を皮膜するので、十二月にマシン油剤の散布をしてない園は呼吸作用の少ないうちにこなしてください。

防寒対策

薬量は十アールあたり六百〜八百リットルを圧力の強い噴霧器で筒先を三十センチ以上離して行ってください。

一度寒害に遭うと、樹体の回復に二年はかかります。被害を最小限にするため、こも掛け・根元の盛り土などの防寒対策が必要です。特にゆず園にはいる作業は、少なくともたびたび園内に行き、愛情を込めて語りかけてやることを怠らないような心がけが必要です。